

アンリツ株式会社

2027年3月期 第1四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 通信計測におけるQ1の受注・売上は社内想定と比べてどうだったか？

A1: 売上は概ね想定どおりに推移しました。受注は、データセンター関連需要が好調に推移するなか、お客様の生産計画を見越した前倒し発注も見られたことから、想定を上回りました。

Q2: 通信計測の受注における光トランシーバーの800GE向け計測器と1.6TE向け計測器の内訳はどうなっているか？

A2: 1.6TE向けの受注もありますが、現時点では比率としてまだ800GE向けが多い状況です。

Q3: モバイル市場の今後の需要動向をどうみているか？

A3: 当面は低調・横ばいが続く見通しです。2028年のロサンゼルス五輪でPre-6Gが始まることを見据え、その少し前から需要が立ち上がる可能性があり、来年以降の回復を期待しています。

Q4: 通期の業績見通しに変更はあるか？

A4: Q1は受注が想定を上回りましたが、売上は計画どおりであったため、通期業績予想は据え置きました。

Q5: PQA事業の北米市場における好調の要因は？

A5: 主に食肉加工市場向けX線検査機の着実な成長によるものです。これは、この分野における市場開拓と顧客基盤の拡大に向けた、長年にわたる取り組みによります。